

広報 いまり

昭和29年8月19日 第3種郵便物認可 ○毎月1日発行 定価1部5円 昭和43年4月1日 伊万里市役所秘書企画課発行

市の人口

3月1日現在

総人口 66,452人

男 31,300人

女 35,152人

世帯数 15,452世帯

No. 168



広報こよみ

- 15日 市民交通傷害保険受付開始
- 16日 南波多町妊婦検診
波多津町戦没者慰靈祭
- 17日 地区選出赤ちゃんコンクール
南波多町戦没者慰靈祭
- 18日 二里町戦没者慰靈祭
大川町中央婦人学級
第1回畜犬登録と狂犬病予防
注射（伊万里・大川・松浦）
- 19日 伊万里町戦没者慰靈祭
第1回畜犬登録と狂犬病予防
注射（東山代・南波多）
- 20日 松浦町老友会総会
- 22日 第1回畜犬登録と狂犬病予防
注射（二里・山代）
- 23日 同上（伊万里・黒川・波多津）

★つごうによって変更することがあります。

★あなたの町や部落で明るい話題がありましたら市役所秘書企画課広報統計係（有線放送2404）（公社電話2111）へお電話ください。

病気の早期発見・適正治療で――

――あなたの家庭を明るくしよう――

(S43. 3. 28. 大川内町市山大山で)

3月に医師会の協力をうけ、へき地巡回診療を市内5か所で行なった

受診者95人のうち40%は、要精密
要治療者だった。疾病は、高血圧症
神経痛などが多く、また、肩こり・

どうき・息切れ・しびれ・めまいを訴
える者が多かった。こんごは、要治
療者の家庭訪問と農閑期利用の衛生
教育を行なう計画だ。

4月

市庁舎の建設位置

国見台を撤回

立花台地の開発などから再検討

山口市長は、3月16日開かれた市庁舎建設審議会に対して、昨年、市庁舎を国見台に建設したいと諮問していたのを白紙にもどしたいと申し入れ、了解を得ました。

同審議会は、昨年6月、諮問をうけてから建設位置の可否を答申するには市民の意見を聞くべきだと各町に出向き意見を聞いていました。

しかし、水害後、災害対策に追われ審議会を中断していました。

市庁舎を国見台に建設したいといふ今までの方針を白紙にもどしたおもな理由は次のとおりです。

① 立花台地の開発が必要であること。

② 都市計画による市街地区が100ヘクタールから500ヘクタールに拡げられ、その地域内に住宅・公

共施設・公園地域を設定することについて新らしい観点からの検討が必要になったこと。

③ 交通激増に伴い都市計画街路が変更になったこと。

市庁舎建設審議会は、今まで、伊万里小学校横・伊万里保育園がだめになり、また、国見台が撤回され

たが、市民の関心も大きいのでこんごは信念をもち慎重な態度で諮問されたいと要望して、市長の申し入れを了解しました。

山口市長の談話

諸般の状勢の変化で、一応白紙にもどしたが、市街地区の拡大や市民会館建設についての市民の意見も尊重し慎重を期して十分の調査と検討を行ない、改めて審議をお願いするつもりだ。

1日1円で最高50万円を補償

市民交通事故傷害保険

市民の皆さん、交通事故で死んだり、けがをしたときいくらかでも補償があれば、どれだけ助かるこでしよう。交通事故は、もう、人ごとではありません。家族みんな、すぐ加入してください。

4月15日から同月30日まで、予約を受け付けます
市役所の市民課・各出張所・銀行・相互銀行・信用金庫の窓口で受け付けをします。

加入するかたは、印鑑と360円をもつて、もよりの窓口へお出かけください。

◆ 4月中旬に、各家庭へ、パンフレットを配付します

無料相談所

▶ 交通事故相談（第2・4木曜日）
11日・25日 10時～15時
市役所市民相談室

▶ 法律相談（第3金曜日）
19日 10時～15時
市役所市民相談室

▶ 精神衛生相談（毎週水曜日）
3・10・17・24日 13時～15時
伊万里保健所

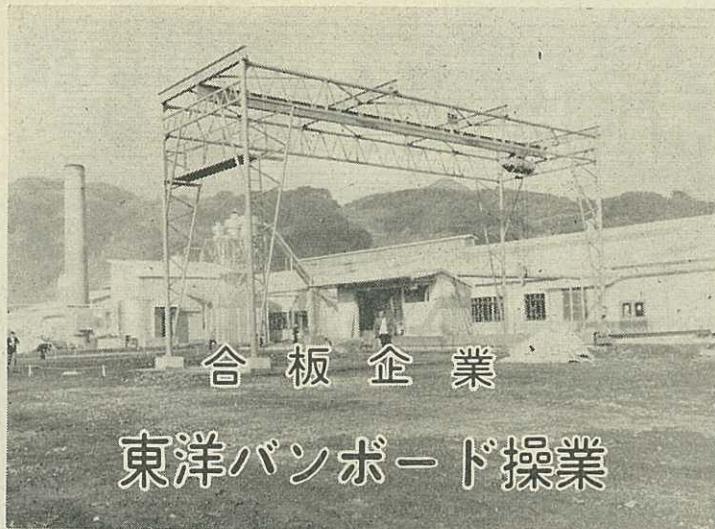
▶ 肢体不自由児療育相談
(第3木曜日)
18日 13時～15時 伊万里保健所

◆ いったい、今の世の中は何が目的なのかわからない
かもしれない。これがこうじて人間が生きる目的を喪失して
くれば、それこそたいへん
である。ここらあたりで一つの目的のはつきりした世の中
にしたいものである。人の幸福というものは、何であるのか、その平凡なこと
があらためて考えられねば
ならない。

◆ 歌手は、歌が本命なのか
と思うと、歌のじょうずよ
りもカッコいいスタイルが
若い人にはうけている。婦
人が雑誌も雑誌の内容より付
録を見て買う人が多い。子
どもお菓子を買うのかと
思って小遣いをやると、お
菓子のほうは見向きもせず
にその中のワッペンだけを探している。

◆ もっと身近かな例をあげ
よう。このあいだの大雪の
日など、家の中が電化し、
ガス化したばかりに、いつ
たんストップすると朝食に
もことかく文明の非劇が生
じた。

◆ 大学がマンモス化して
講義だけがマイクを流れ
ている。



昨年9月から山代町久原に建設していた東洋バンボード（本社佐賀市社長横川利三氏・資本金3,000万円）の伊万里工場が3月26日落成しました。

敷地は、産炭地域振興事業団が造成した久原B団地5万1,044平方メートルです。

建物は、5,000平方メートルの本工場のほか、事務所・ボイラー室など付属施設を含めて6,100平方メートルです。

トルの総面積です。

今までに施設設備に3億9,000万円を投じています。

同工場は、ラワン材を原料にした床板の台板を月8万枚・年間7億円を生産し、佐賀の二次製品工場へ送ります。

また将来は、二次・三次製品工場建設の計画もあるようです。

現在、152人の従業員がこの工場で働いています。

短期人間ドックのご利用を

人生も後半になると、からだの各部に老化現象が出はじめ、いろんな病気にかかりやすくなります。

成人病を早めに見つけ、軽いうちに手当を加えようというのが「人間ドック」です。

市民病院は、市町村職員共済

組合の人間ドック契約病院として2泊3日の短期ドックを利用できるようになりました。

皆さんのなかで、短期ドックを利用したいかたは、市民病院へお問い合わせください。

料金は、1万3,500円です。

市民病院 TEL 4121

◆最高の教育機関であるは
が手段なのかわからない様
相を呈してきた。文明が進
んでくると機械が人間を左
右して目的不在の世の中が
出現していく。

◆英國をはじめ、歐州各国の状態をみてみると、経済的にはどうみても独立国とはいえない感じである。
◆もともと、通貨政策は、一国の経済をささえる手段であるはずなのに、その手段が一国を危機におどしていることは原子力の問題でも同じである。それが平和に利用されれば人間生活を豊かにするが、その使用方法をあやまれば発明した人類が逆に破滅する。

◆ベトナムの戦争にしても、いついかが目的で、何が手段なのかわからない様な手段を呈してきた。文明が進んでくると機械が人間を左右して目的不在の世の中が出現していく。

人事異動

4月1日付で、市職員97人の人事異動が行なわれました。

こんどの異動は、高令退職予定者の課付に伴う課長級の異動と、建設課・農林水産課の災害関係へ24人の配置転換がおもなものでした。

◎課長級

- ▶総務課付=野中雅英
- ▶税務課付=金子光良 ▶税務課長=武野増見 ▶市民課長=牧瀬良四
- ▶保険衛生課長=山口竹一 ▶伊万里保育園長=池田一郎 ▶議会事務局長=深江貞雄 ▶選挙管理委員会事務局長=松永常一

◎課長補佐級

- ▶市民病院事務長=村岡 博 ▶農林水産課長補佐=大浦大助 ▶建設課長補佐兼庶務係長=松岡五夫 ▶建設課長補佐兼都市計画係長=井手誠 ▶市民課長補佐兼窓口係長・市民相談係長=条島 勝 ▶黒川公民館長兼出張所長=古竹福市 ▶監査委員事務局長=林 一幸 ▶農業委員会事務局次長=伊東勝見

◎係長級

- ▶市民課年金係長=松尾 栄 ▶福祉事務所庶務係長=波多 慶 ▶福祉第一係長=北島富雄 ▶同家庭児童相談室=牧瀬義雄 ▶農林水産課林務係長=大久保 清 ▶商工観光課企業誘致係長=吉田弘介 ▶建設課管理係長=福田幸吉 ▶同維持補修係長=藤巻善之 ▶水道課簡易水道係長=田代鉄次 ▶農業委員会農地係長=川口 稔 ▶伊万里給食センター所長=山口竹四 ▶西部給食センター所長=松永太市



建設省街路計画変更を認める

総延長17キロ・総事業費48億円

市は、3月中旬、建設省へ都市計画街路の変更を申請し認められました。建設省は、この変更案を県に設置してある都市計画地方審議会に諮問し、その答申をまって正式に4月下旬決定するみとおします。

変更案による計画街路の総延長は1万7,580m・事業費は48億円になっています。

今までの計画は、昭和30年に決定されたもので、近年の経済発展に伴う国道202号線の交通量激増と市内自動車普及状況から手直しの必要に迫られていたものです。

昨年の市内の自動車普及率（軽自動車以上）は、人口1,000人当たり63台ですが、昭和60年には4.5倍にふえ、1日延べ12万台の自動車が市内を走ることを予想しています。

このような交通量増加に対応するため次のような新しい街路計画をたてました。

◎ 市内を通過する車は………

▶ 唐津・多久・佐世保・山代方面から市内を東西に通過する車は、国道202号線バイパスを利用させる

▶ 波多津～有田など南北の交通は江湖の辻～木須線（幅16m）とバイパスを利用させる。

◎ 市街地出入りの車は………

▶ 唐津・松浦町など東との交通は現在の国道とバイパスから市街地へ取り付ける坂口～脇田線（幅16m）を利用させる。

▶ 武雄・大川内など南との交通は、県道伊万里～武雄線とバイパスからの坂口～脇田線を利用させる。

▶ 佐世保・有田など西との交通は、現在の国道と二里町大里から分かれるバイパスに分散させ、江湖の辻～木須線・坂口～脇田線を利用させる。

▶ 山代方面との交通は、二里町

大里がらのバイパスと川東橋からの現国道を分散利用させる。

▶ 波多津・黒川など北との交通は、岩栗～金比羅線（幅12～16m）伊万里駅前線（幅16m）・江湖の辻～木須線を利用させる。

▶ 岩立方面との交通は、坂口～脇田線を利用させる。

◎ 市街地交通の流れを

よくするために………

▶ 昭和39年からの継続事業である本町～上伊万里駅線（幅12m）は、内部交通の重要な幹線であるため、東新町交差点から祇園町三差路まで現在の幅7mを改良する。

▶ 八谷堀地区の市街化に伴い本町～八谷堀線（幅12m）を更に西へ延長する。

▶ 伊万里駅前線（幅16m）は、歩道と車道を分離した街路として、ほぼ、直線で馬伏へ通ずるようにする

▶ 坂口～脇田線は、現在、保育園・伊万里学園高校・商業高校などの通学道路でもあり、車道と歩道を分離し幅16mにする。

▶ 松島～立花町線（幅16m）は松島堀から大坪小学校裏を通り、内部環状線にする。

また、大坪小裏から十三塚を通り唐津方面へ抜ける道路も計画する。

▶ 伊万里駅南地区の開発の一つとして駅に広場を設け、国見台公園への直線道路南口線（幅16m）を計画する。

▶ 新天町～江湖の辻線（幅12m）として、現自動車学校ふきんから江湖の辻に結ぶ直線道路を計画する。

▶ 公園橋から伊万里中学校西側を経て住宅地として開発中の岩栗が丘を通る公園橋線（幅12m）を計画し、松島～立花線に結ぶ。

▶ 岩栗橋から図書館を経て城山公園の西側そぞを通る岩栗～金比羅線（幅12m）を計画し伊万里駅前線へ結ぶ。

これらの事業計画は、正式の決定があつてから、年度別事業を建設省へ申請し、認可をえて、2分の1から3分の2の国庫補助をうけ事業を進めることになります。

市が計画している実施路線は、継続事業である本町～上伊万里駅線とことしから46年度までの事業として坂口～脇田線を予定しています。

今春から用地買収にかかる国道バイパスは、祇園町三差路から二里町大里の国道まで、延長3,500mです

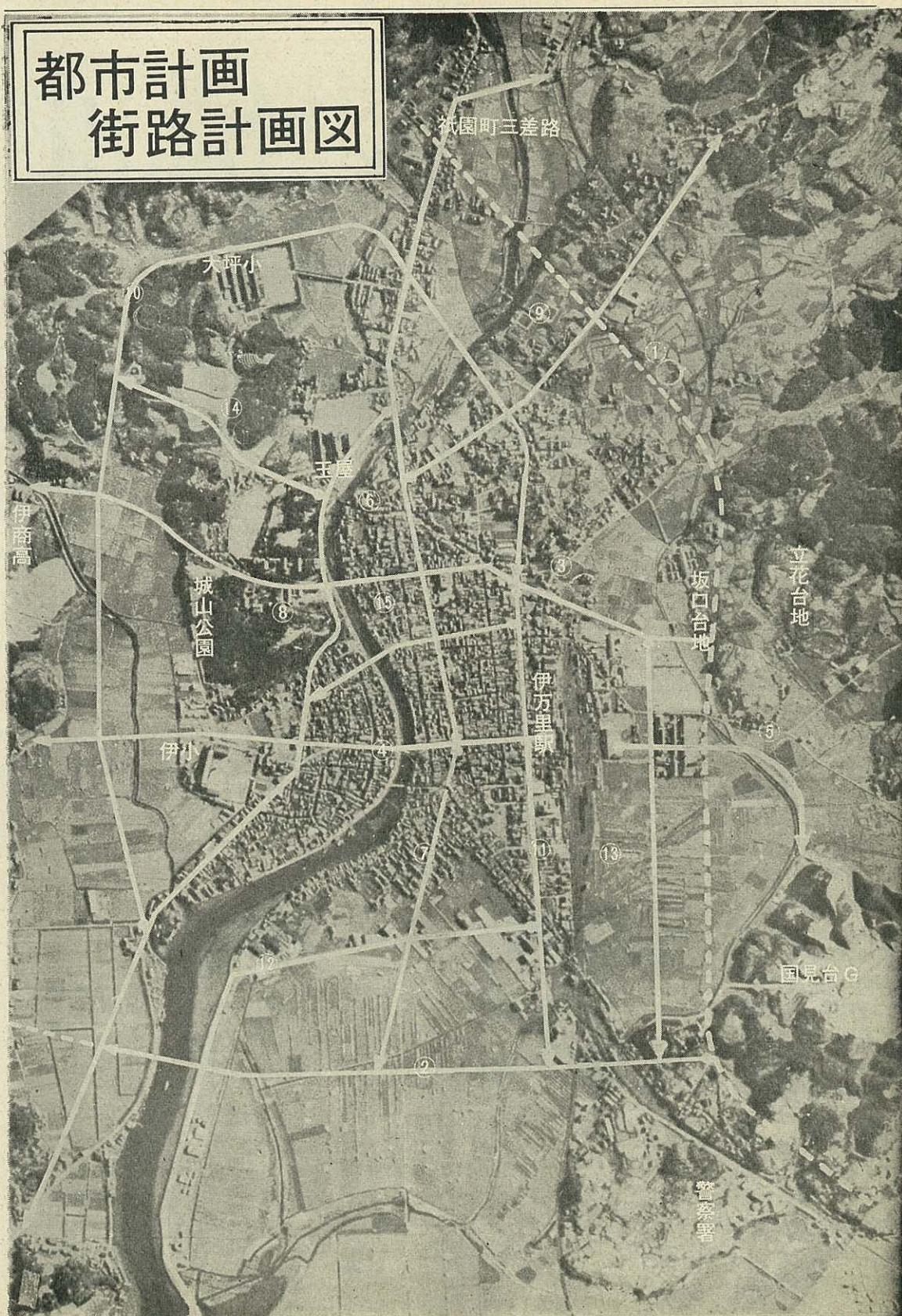
バイパスの巾は………

祇園町三差路から坂口～脇田線起点までと伊万里ガス会社ふきんから二里町の国道まで20.5m、中間の地区は、23mになっています。

5頁写真に数字で示した路線名

- ①国道202号線バイパス
- ②江湖の辻～木須線
- ③坂口～脇田線
- ④駅前線
- ⑤駅南口線
- ⑥本町～上伊万里駅線
- ⑦本町～八谷堀線
- ⑧岩栗～金比羅線
- ⑨伊万里～武雄線
- ⑩松島～立花線
- ⑪国道202号線
- ⑫八谷堀線
- ⑬新天町～江湖の辻線
- ⑭公園橋線
- ⑮延命橋線

都市計画 街路計画図



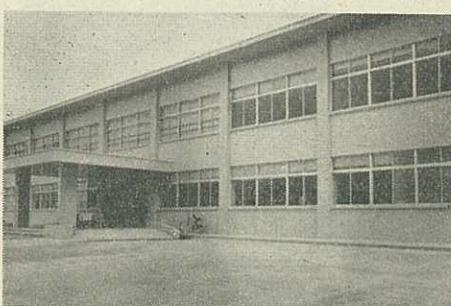
裁判所新庁舎完成

伊万里簡易裁判所の新庁舎が完成しました。

鉄筋2階建・外装タイル張りで、建面積 530平方メートル・延べ 1,033平方メートルです。

古い庁舎は、明治18年、伊万里治審裁判所として建築され82年間たっていました。その後、明治22年、伊万里区裁判所と改称され、現在は、佐賀地方裁判所伊万里支部・佐賀家庭裁判所伊万里支部・伊万里簡易裁判所があります。小中学生の社会科視察・一般の傍聴などもできます。簡易裁判所へご連絡ください。

(下の写真は完成した裁判所庁舎)



明治政府は、身分による差別をのぞくため、士・農・工・商をみな平等に、だれでも自由に職業を選び、住所をかえ、華族や士族とも結婚できるようにしました。

名字が許されたことは、人間が人間として尊重されるという初步的第一歩を踏みだしたのです。

名字を許された当初は、どのような名前がいいというようなことを考へはしたもの、やはり簡単なものということで、家の前の川が小さいから「小川」とか、日が高々と昇っていたので「日高」という具合に名付けたそうです。

名字が許されてから百年、いまは個人主義尊重の立場で「人は生まれながらにして平等である」という基本的人権が憲法で保障されています



大型公衆電話ができました。この電話は、今までの赤電話とちがい市外ダイヤル地域へは普通の電話と

同じようにダイヤルするだけで通話できます。

料金は、相手局の距離によってちがいます。

10円玉2枚~6枚をいれから通話をはじめください。話が長くなれば通話中に10円玉を追加すればよいようになっています。不

要の10円玉は、通話が終ると返却口にもどります。

市内通話・交換手のつなぐ市外通話・110番・119番・電報発信などは今までの利用方法と同じです。

大型赤電話は、外側に金色のテープをまいてあります。市内では、玉屋・西肥バス売店・デパート浜田など8か所・10台を設置しています。

設置場所・伊万里玉屋(東新町)

・西肥バス売店(新天町)=以上2台・石田商店(下土井町)・川添商店(六仙寺)・山中タバコ店(松島町)・井上商店(中央通り)・陣内食料品店(元町)・デパート浜田(仲町)

農協有線放送で、

毎週土曜日のあさとよるに「市政の動き」を放送しています。

予防接種なども支所単位に随時放送しています。

市役所関係の放送についてのお問い合わせは秘書企画課へ

公社電話代表2111・有放電話2404



平民に名字が許される(明治3年)

いまのような激動する社会は、ともすれば、自分自身の存在を忘れさせがちになるため、社会教育的見地から明治のはじめごろと現在を結びつけて人間の歴史をひもどく時間がほしいものです。

名は、その人の体をあらわすといいますが、いまでは、名がその人の一生とか運命を左右するとかいって名付けのときあれこれ考えます。また、改名・改姓します。しかし、親から無体財産として受けついだ名は

もっとたいせつにしたいものです。

名を大事にすることは、自分自身をたいせつにすることだと思います

百年前は、名字すら許されず、ただ主君のために一生を捧げた人のことを思うとき、自分の名をそまつにすることはできないはずです。

こんにちのわたくしたちのために尽し、また、歴史を残してくれた先人に対してもっと感謝の念をもつべきです。

ややもすれば、大平ムードにのっかり、感謝を忘れ、また真の幸福も忘れているのではないかでしょうか。

ほんとうのしあわせとは何であるかを、追求するのが社会教育的一面であり、それを解決するのは、わたくしたち一人一人の努力だと思います。

